

平成28年度 基本施策評価シート (部別)

基本目標	安全・安心・快適なまちの形成
基本方針	災害に強いまち
基本施策名	防災対策の充実

	所属	職名	氏名
作成者	危機管理課	課長	古幡 彰
評価者	総務部	部長	堀内 猛志

1 基本施策に対する基本姿勢

現状	安曇野市は、急峻な山と高低差のある地形や、複合扇状地という地理的背景から、台風や異常気象による集中豪雨によって起こる災害や、牛伏寺断層を含む糸魚川―静岡構造線断層帯を震源とする地震など、直下型地震による災害も懸念されています。一方、都市化、高齢化、国際社会等社会構造の変化、核家族などによる家庭や地域の養育・介護機能の低下等に伴い、災害発生時に災害時要援護者が被害を受ける事例が多く見受けられることから、市、県並びに社会福祉協議会などの関係機関は、地域住民、自主防災組織等の協力を得ながら、災害時から災害時要援護者を守るための防災対策の一層の充実が求められています。
基本方針 (目指すべき方向性)	消防・防災体制のさらなる充実を図るとともに、消防団や自主防災組織と連携しながら、市民の防災意識の高揚を図り、災害から市民の生命財産を守る、災害に強いまちを目指します。

2 施策指標

指標	単位	(設定時)	目標値	H26	H27	H28	達成率	進捗状況	所管課
罹災時用備蓄飲食料数	食	30,000	40,000		52,344	59,234	148%	予定以上	危機管理課

施策指標の進捗状況と分析	市は、防災の第一次的責任を果たす地方公共団体として、災害発生時における市民の安全・安心を確保することを目的に、災害発生時に必要な食料、飲料水、日用品等の物資や、指定避難所等の開設に資する資機材の備蓄を進めています。大規模災害発生直後は、流通機能の停止が懸念されることから、住民自ら備蓄に努めてもらうことを基本としますが、市も避難者等のため、支援物資が届くまでの間に最低限必要となる日用品及び資機材を備蓄する必要があります。施策指標である「罹災時用備蓄飲食料(食)」につきましては、平成29年度の目標値を40,000食としました。しかし、平成28年度末現在で59,234と、すでに目標達成率は148%となっておりますが、今後も予算の範囲内で、備蓄飲食料を計画的に購入いたします。
--------------	--

3 基本施策を構成する事務事業の評価

(単位：円)

No	コード	事務事業名	所管課	事業費					事務事業の状況				重点化	
				H26	H27	H28	H29	H30	合計	事業区分	新/継	終期		方向性
1	0109010	常備消防負担金事業	消防防災係			1,011,983,075	1,007,632,000		2,019,615,075	定型業務	継続	期限なし	現状維持	○
2	0109020	非常備消防運営事業	消防防災係			233,931,822	230,111,000		464,042,822	定型業務	継続	期限なし	現状維持	○
3	0109030	消防団車両更新事業	消防防災係			22,344,760		38,915,000	61,259,760	ハード(継続)	継続	期限なし	現状維持	
4	0109040	消防施設維持整備事業	消防防災係			119,043,955	83,172,000		202,215,955	施設の管理運営	継続	期限なし	現状維持	
5	0109050	防災行政無線維持整備事業	消防防災係			31,290,163	22,922,000		54,212,163	施設の管理運営	継続	期限なし	現状維持	
6	0109060	長野県衛星系防災行政無線設備更新事業	消防防災係			9,231,352			9,231,352	定型業務	新規	H28	現状維持	
7	0109080	防災計画策定事業	危機管理担当			24,500	105,000		129,500	義務業務	継続	期限なし	現状維持	○
8	0109090	防災啓発事業	危機管理担当			2,076,661	18,474,000	20,400,000	40,950,661	定型業務	継続	期限なし	現状維持	
9	0109100	防災組織支援事業	危機管理担当			2,266,293	6,582,000		8,848,293	定型業務	継続	期限なし	現状維持	
10	0109110	防災情報共有化事業	危機管理担当			5,561,496	4,446,000		10,007,496	定型業務	継続	期限なし	現状維持	
11	0109120	防災広場管理事業	危機管理担当			2,485,288	3,239,000		5,724,288	施設の管理運営	継続	期限なし	現状維持	
12	0109130	災害対策事業	危機管理担当			33,644,030	26,640,000	36,692,000	96,976,030	定型業務	継続	期限なし	現状維持	○
13	0109140	災害対策総務費	危機管理担当			1,478,688	1,917,000		3,395,688	定型業務	継続	期限なし	現状維持	
合計						1,475,362,083	1,405,240,000	96,007,000	2,976,609,083					

事務事業量とコスト(費用対効果)の分析	想定する被害は、第3次長野県地震被害想定調査報告書(平成27年3月)に基づき、本市で起こりうる最大規模の地震である「糸魚川―静岡構造線断層帯(全体)」を震源とする地震が、風が強く吹いている冬の日の18時に発生したものと、想定被災者数を備蓄目標数の根拠としております。また、これらの備蓄品でも不足する場合は、県からの救援物資、応援協定等による流通備蓄により対応いたします。
重点化事務事業の考え方	市民生活に甚大な被害を及ぼすおそれのある大規模な地震に備え、また、対応するため、東日本大震災などの大規模災害の経験を教訓に、近年の社会構造の変化を踏まえた中で、「安曇野市地域防災計画」の見直しを行い、危機管理体制の強化に努めてまいります。
縮減・廃止事務事業の考え方	
総合評価(次年度へ向けた課題の抽出)	想定避難者に配布する食料、飲料水、日用品の備蓄目標数を、年代を考慮して算出してあります。日用品については、避難所の寒さ対策としての毛布及び避難用マット(シート)を整備する必要があり、また、災害発生時には水洗トイレが使用できない事態が想定されるため、水がなくても使用できる携帯トイレなどを整備する必要があります。そのほか、乳幼児用粉ミルク、哺乳ビン、身の回り品等については、流通業者との協定による調達を検討いたします。